

# 大阪大学国際共同研究推進研究助成 講演会のご案内

演題：The FOXO3 Gene, Healthy Aging and Longevity.

-From the psycho-social perspectives-

演者：Dr. Bradley J. Willcox, MD, Ph.D.

Professor, Department of Geriatric Medicine,  
John A. Burns School of Medicine, University of Hawaii



日時：2017年7月7日(金)

18時00分～19時30分

場所：医学研究科保健学科 大会議室



Wilcox 教授は、老年医学の医師・疫学研究者で、長年長寿要因に関する研究をされています。沖縄百寿者研究に長年携わっておられ、その成果は、Okinawa Program として世界各国語に翻訳されています。現在は世界でも最も長く続いている、日系人男性のコホート研究として有名なホノルル研究の研究代表をされています。彼は長寿遺伝子 FOXO3A を発見したこと世界的に有名で、我々の研究チーム(SONIC)とも共同研究を進めています。本講演では FOXO 遺伝子の研究の歴史、今後の展開についてお話いただける予定です。日本語も理解されているので、質問は日本語でも可能です。皆様、ぜひ御来聴下さい。なお、Wilcox 教授は大阪大学国際共同研究推進プログラムによって、今後3年間にわたり年間1月程度大阪大学に滞在される予定です。

## 主要論文(抜粋)

- Willcox BJ, et al. (2006). Midlife risk factors and healthy survival in men. *JAMA*, 296(19).
- Willcox BJ, et al. (2008). FOXO3A genotype is strongly associated with human longevity. *Proc Natl Acad Sci U S A*, 105(37).
- Morris, B.J., ... and Willcox, B.J. (2016) Association Analysis of FOXO3 Longevity Variants With Blood Pressure and Essential Hypertension. *American Journal of Hypertension*, 29 (11).

## 共催

大阪大学老年学研究会：大阪大学未来医療研究人材養成拠点形成事業

(問い合わせ先) 人間科学研究科 臨床死生学・老年行動学講座 権藤恭之

TEL 06-6879-8061 E-mail: ygondo@hus.osaka-u.ac.jp